

Press Release

Jan 7, 2021 | ID: 21-V002

電動車販売が好調な 1 年を経て ゲント工場の電気自動車 (BEV) の生産能力を 3 倍に拡大

本プレスリリースは、1 月 7 日スウェーデン本社発の翻訳版です

ボルボ・カーズは、充電可能なモデルとなるリチャージ・ラインアップ (BEV、PHEV) の急速な需要増に対応するため、ベルギーのゲント工場での電気自動車 (BEV) の生産能力を 3 倍に増強します。

2020 年の通期販売実績において、総販売台数に占めるリチャージ・モデルの割合が、2019 年と比較して 2 倍以上に増加するなど、充電可能なリチャージ・モデルの需要が大きく伸びていることを示しています。

2022 年までには、ゲント工場の電気自動車 (BEV) の生産能力は現在の 3 倍以上になり、工場全体の生産能力の約 60% に達します。ゲント工場では現在、CMA アーキテクチャをベースにしたボルボ 2 番目となる電気自動車 (BEV) を今年後半に生産開始する準備を進めています。同工場では、ボルボ初の電気自動車である XC40 Recharge (BEV) と、XC40 (PHEV) をすでに生産しています。

「当社の未来は電気自動車であり、お客様はわたしたちのリチャージ・ラインナップを高く評価しています。ラインナップの電動化を進め、生産能力を向上させていく中で、ゲント工場は当社のグローバルな製造ネットワークにとっての先駆者となります」と、グローバルインダストリアルオペレーションおよび品質責任者のハビエル・ヴァレラは述べています。

ボルボ・カーズは、プレミアム電気自動車会社になることを目指しており、今後数年のうちに複数の電気自動車を発売する予定です。2025 年までには、世界販売台数の 50% が電気自動車 (BEV) で、残りがハイブリッド車となることを目標としています。

ゲント工場は、ボルボの世界的な製造ネットワークの中で初めて電気自動車の製造を開始した工場ですが、ボルボ・カーズは、他の世界各国の工場においても電気自動車の生産能力を高める計画です。

ボルボ・カーズは次世代ボルボ車用モーターの社内設計と開発にも大規模な投資を行っており、今後数年間で 7 億 SEK を投資する計画です。また、2020 年代半ばまでにスウェーデンのショブデにあるパワートレイン工場でのモーターの完全な自社生産を確立する計画を先月発表しました。

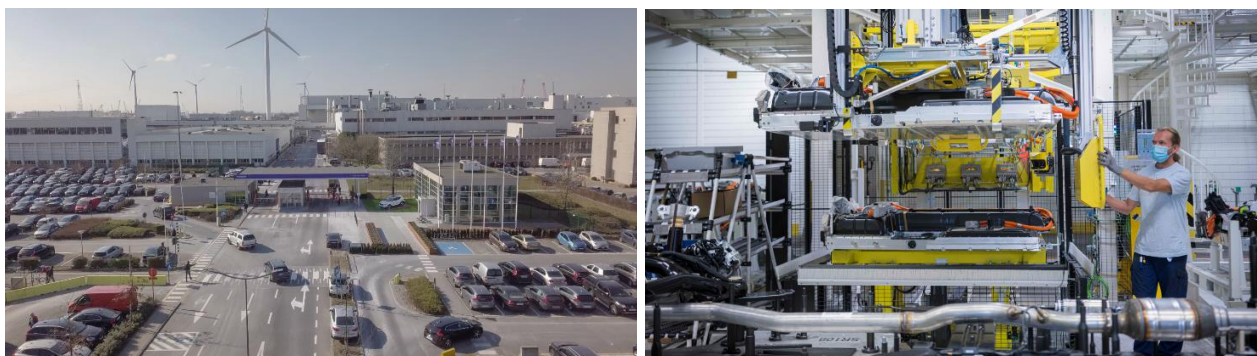
ボルボ・カーグループ(ボルボ・カーズ)会社概要

ボルボ・カーズは、1927年に創業した高級自動車ブランドの一つです。2019年度において営業利益 143 億 SEK(スウェーデン・クローナ)(前年: 142 億 SEK)、売上高 2,741 億 SEK(前年:2,527 億 SEK)を記録しました。2019年通期の世界販売台数は、前年比 109.8%となる過去最高の 705,452 台(前年:642,253 台)を達成しました。2019年時の正社員数は 41,500 人で、本社、製品開発部門、マーケティング・総務部門の主な拠点はスウェーデンのイエーテボリにあり、アジア太平洋地域本社は中国・上海にあります。主な生産拠点は、イエーテボリ(スウェーデン)、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ州(米国)、成都および大慶(中国)で、そのほかショブデ(スウェーデン)と張家口(中国)にエンジン工場があり、オルフトローム(スウェーデン)に車体部品工場があります。ボルボ・カーズは、新企業目標「Freedom to Move(モビリティの自由)」のもと、個々のニーズを満たせる持続可能で安全なモビリティをお客様に提供することを目指しています。この目標のもと、今後 5 年間で電気自動車の世界販売台数 50%の達成や、収益の半分をダイレクトコンシューマービジネスで生み出すことなど、当社の多くの戦略にも反映されています。当社は 2040 年までにクライメートニュートラルを実現することを目標に、CO₂ 排出量の継続的な削減に取り組んでいます。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン マーケティンググループ 広報チーム
vcjpr@volvocars.com

Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2021 Volvo Car Japan Limited